

ウイルスにまけない！～今こそ協働の力で乗り越えよう～

協働のビジョンで掲げた目標達成に向けて取り組んだ1年目。ウイルス拡大という状況の中でも長岡の市民活動は停滞することなく各分野で団体が活躍し、長岡市も補助金や奨励金を設けて活動を応援しています。

外活動プロジェクト (市民団体)

医療従事者やコロナウイルス感染者への差別や偏見をなくす活動。

人



企業によるマスクプロジェクトへの協力 (事業者)

市内企業からマスクやアルコール等の寄付を受け、必要としている所へ配付。

経済



中越市民防災安全士会女性部によるパッキング普及講座 (市民団体)

防災

災害時や買えない時に備蓄品でできるパッキングレピの開発と紹介。



挑戦

市民活動フェスタ (市民団体・行政)

例年はアオーレに一堂に会していたものを、オンライン形式に変えて活動をPR。



寺泊山田集落防犯環境パトロール (地域コミュニティ)

感染対策を取り、地域の環境美化活動継続。

環境



令和2年度未来を創る市民活動応援補助金、新型コロナウイルス感染症にまけない市民活動団体奨励金の実績

令和2年度は総じて各団体とも、新たな事業やイベントを行うよりも途絶えた活動を継続することを優先していました。

未来を創る市民活動応援補助金

市民団体等が長岡の未来を考え、その実現に向けて主体的に取り組む公益事業に原則上限50万円を補助するもの。

令和2年度実績件数…12事業247万円

(2/22現在・前年度比△29事業、△821万1千円)

新型コロナウイルス感染症にまけない市民活動団体奨励金

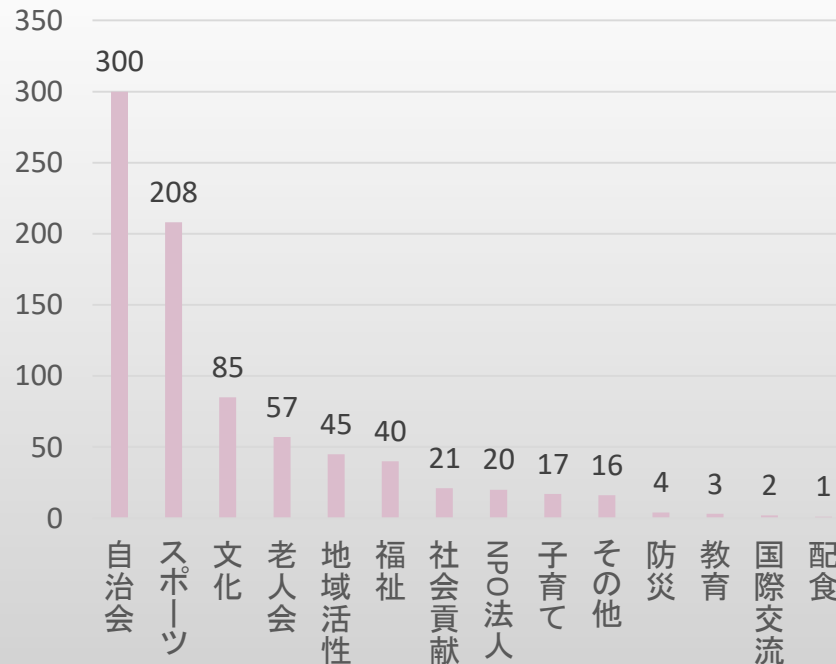
市民団体等が新型コロナウイルス感染症対策の強化や、新しい生活様式の普及に取り組むための経費上限10万円を補助するもの。

令和2年度実績団体数…819団体6,706万5千円

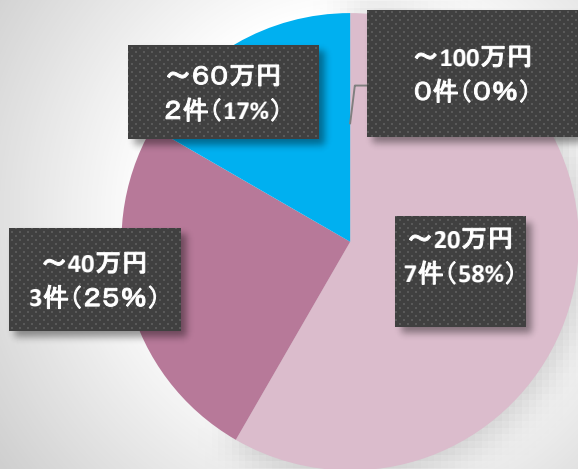
(2/22現在)

分野別件数

(団体)



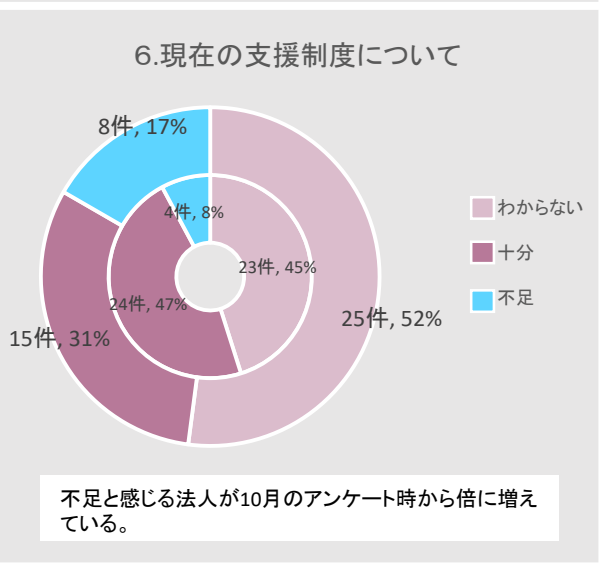
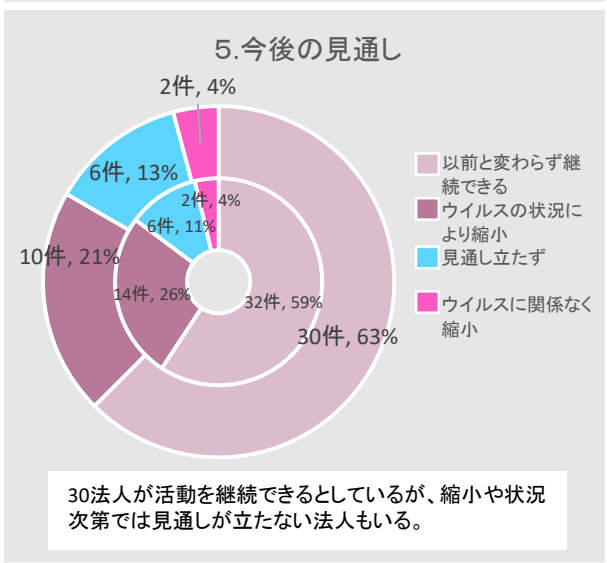
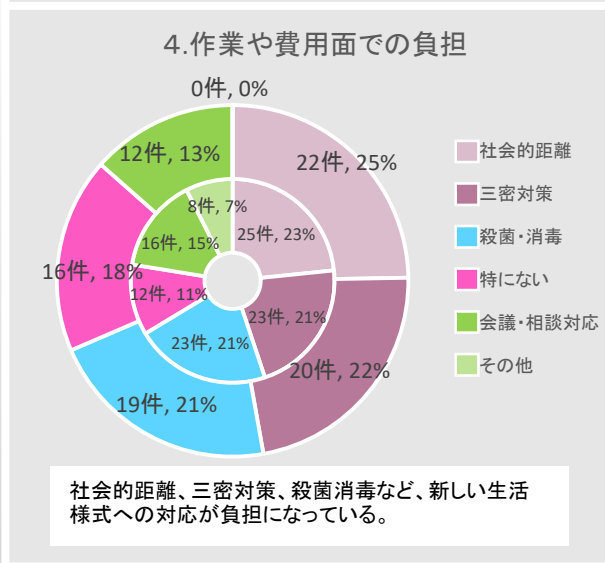
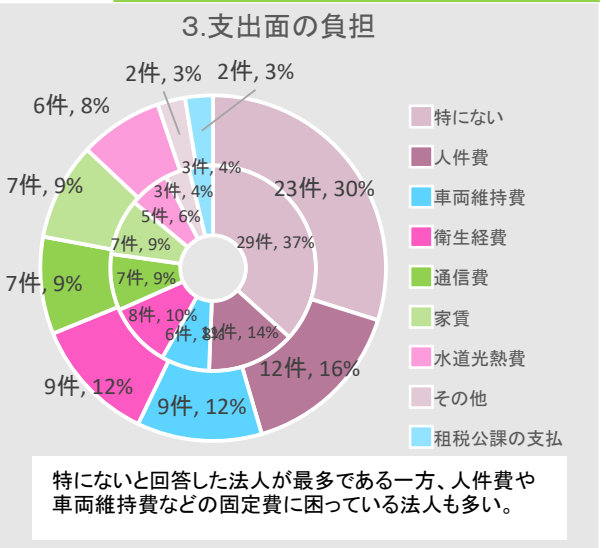
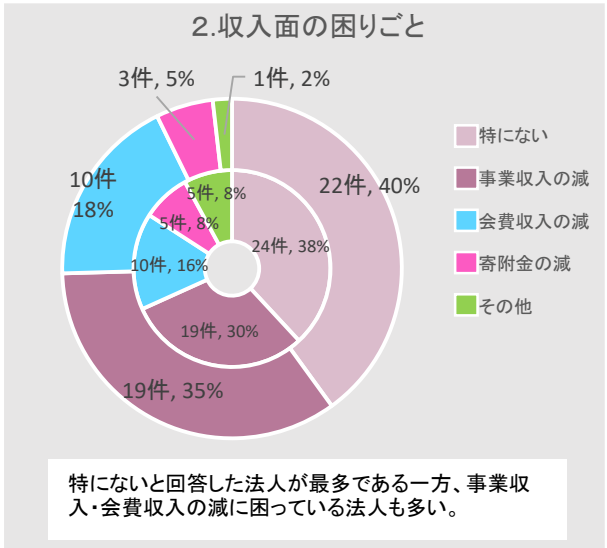
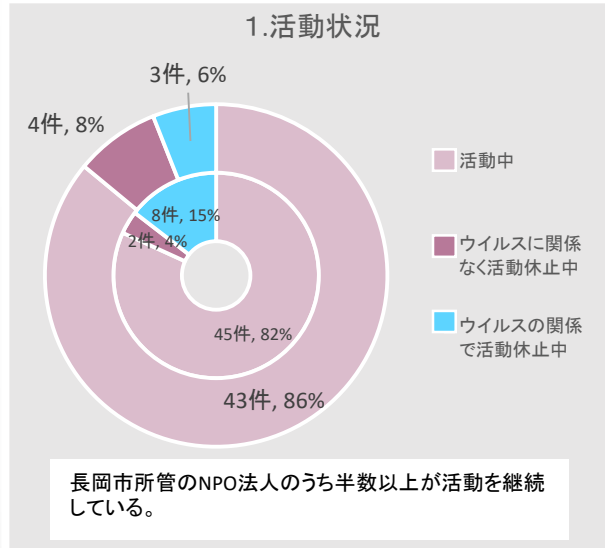
金額別件数



新型コロナウイルスに関するアンケート結果(R2年10・12月実施:NPO法人)

市内NPO法人に対して、感染症拡大の影響や今後の見通しなどについて2回のアンケートを実施。それぞれ72%、68%の回答を得た。(回答:1回目55/76法人、2回目51/75法人)

内側:10月、外側:12月



※R3.2月に3回目のアンケートを実施予定

with・afterコロナウイルスの時代に～市民活動を全力で応援～

★未来共創補助金でwith・afterコロナの活動を応援

現在の社会情勢は当面続くと考えられることから、アンケート結果も踏まえ、よりニーズに沿った補助金制度にしていきます。具体的には従来の未来共創補助金に加え、コロナウイルス対応枠を設け、NPO法人等を対象にwith・afterコロナの中で利用者の安全・安心に資する経費や事業継続に係る経費を支援します。また迅速な採択のために毎月審査会を実施します。

★団体の味方 市民協働センター

市民協働センターでは、ウイルス拡大に伴うNPO法人や市民団体からの相談に丁寧に対応してきました。令和3年度も引き続き相談体制を万全にし、団体がいつでも新たな活動に取り組めるよう備えます。

リモートでも相談に乗り、使い方が不安な団体へのアドバイスや講習会を実施します。団体が事業を実施する際の不安を少しでも払拭するため、AI搭載検温器を貸し出します。

★市民活動の素晴らしさを積極的に発信

コロナ禍でいち早く行動を起こした市民団体の活躍など、素晴らしい活動をどんどんPRします。未来共創補助金の活用事例発表会や市民活動フェスタを通して市民活動のよさを世間に知ってもらうとともに、がんばる団体のモチベーションを高めます。